

令和8年度体力づくり推進計画 ＜全体計画＞

達成目標

- 「週に1日以上、休憩時間に体を動かして遊んでいる」児童 90%以上
- メディア利用について設定した目標を達成した児童 80%以上

学校の状況

- ・全32学級(特別支援学級は8学級)、児童数は828名で、大規模校である。
- ・運動場に建っているプレハブ校舎を解体したり、体育館の改修工事をしたりするため、運動する場所の確保が難しい。

児童生徒の運動・生活習慣の実態

- ・「週に1日以上、休憩時間に体を動かして遊んでいる」という運動習慣によるアンケートによると、肯定的回答が84.2%である。
- ・偏食や少食の児童も多数おり、食べる量が全体的に少ない。そのため、苦手な野菜や白ごはんの残食が多い傾向にある。

広島県体力・運動能力、運動習慣等調査結果との比較から

- ・昨年度は、新体力テストの中で課題とされたボール投げに重点的に取り組んだ。
- ・男女ともに、ほとんどの種目において全国平均値、県平均値を上回っている。
- ・女子は、「ボール投げ」において全国平均値、県平均値を下回っている。

実態把握

児童生徒の実態や体力・運動能力調査等から明らかになった課題

- ・「週に1日以上、休憩時間に体を動かして遊んでいる」という運動習慣によるアンケートによると、否定的回答が15.8%である。これは、川上小学校の児童数に換算すると、およそ130人で、各学級に5人ほどの割合となる。
- ・運動場にプレハブ校舎が建ち、体育館が改修されるため、運動する場所の確保が難しいこともあり、児童が外に出なくても体を動かせるような取組を考え、実践していく必要がある。

取組事項

- ① 運動経験を増やす取組
 - ・進んで体を動かせるように体育授業の改善をしたり、家庭で気軽にできる体育の課題を出したりする。
 - ・月に1回「ハッピーデー」(ロング昼休憩)を設定し、積極的に体を動かすように声かけをする。
 - ・多目的ルームを休憩時間に開放し、体育委員会を中心として、手押し相撲や体じゃんけんなどの大会を開催する。
- ② メディア利用に関する取組
 - ・メディア利用について、自身の生活を振り返る期間を設定する。
 - ・自身の生活を振り返ったことを基に目標を立て、目標達成に向けての取組をする

期待される効果

- ① 運動経験を増やす取組
 - ・運動経験が少ない児童が授業で行う楽しい運動経験を積むことで、運動をする機会が増えたり、学校以外でも体を動かそうとする意欲が高まったりする。
 - ・楽しみながら運動経験を増やすことができる。
- ② メディア利用に関する取組
 - ・自身の生活を振り返る期間を設定することで、メディア利用に関する自身の課題に気付くことができる。
 - ・目標に向けて取り組み、振り返ることで、今後のメディア利用について考えるきっかけとなる。

体制

- ・保健主事、体育主任、養護教諭、各学年部からそれぞれ1名ずつで構成された健康体育部を中心とする。原則、月1回の会議を行う。

令和8年度体力づくり推進計画

<年間指導計画>

東広島市立川上小学校

様式②

達成目標

- 「週に1日以上、休憩時間に体を動かして遊んでいる」児童 90%以上
- メディア利用について設定した目標を達成した児童 80%以上

1月	～3月	4月	5月	6月	7・8月	9月	10月	11月	12月
Plan		Do		Check	Action	Plan	Do	Check	Action
結果分析・計画立案		計画に基づき実施		新体力テストの実施 結果分析		見直しと改善計画の立案 計画に基づき実施		評価 見直し・次年度の計画	
【体育科・保健体育科】 縄跳び ボール運動	ボール運動	マット運動 跳び箱運動	マット運動 跳び箱運動	水泳	水泳	陸上運動 学年体育で新体力テストの課題に重点的に取り組む	表現の学習	持久走	縄跳び
【教科外】		定期健康診断 (身長・体重)		プール清掃 プール開き 新体力テスト 野外活動	水泳記録会	プール納め	運動会 陸上記録会		
				← 水泳強化期間 →		← 新体力テスト課題強化期間 →		← なわとび強化期間(11～2月) →	
						← 陸上強化練習 →		← 持久走強化練習 →	
【日常生活等】	← ハッピーデー →						← ハッピーデー(各学年月に1回 昼休憩) →		
								← 多目的ルーム開放(大・昼休憩) →	
【家庭・地域との連携】	学校での体力づくり についての取組説明				体育の課題(夏休み) 新体力テスト結果報告				体育の課題(冬休み)